

# 治安維持法と 現代

2019  
春季号  
No.37

非国民の汚名着たまま旅だちたくない

—北海道・生活図画事件

松本 五郎



「数は力！」—第39回全国大会の転換期へ 増本 一彦  
国賠法制定賛同国会議員紹介（2018年度分）

多喜二虐殺と特高告訴の試み

荻野富士夫

Q&A 天皇の代替わりをどうみるか

石山 久男

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 編

# 治安維持法 と現代

2019  
春季号

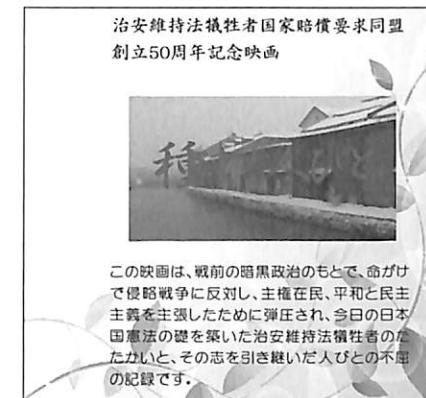


「山本宣治終焉の地(光榮館跡)」記念プレート（東京千代田区  
神田神保町1丁目103・東京バークタワービルのすずらん通  
り寄り区道植栽。2019年3月5日建立）

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 編

## 治安維持法下の闘いと弾圧・抵抗を描く 迫真のドキュメンタリー完成！

全国の運動と募金に支えられて 犠牲者たちの未来への伝言！



治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟  
創立50周年記念映画

この映画は、戦前の暗黒政治のもとで、命がけで侵略戦争に反対し、主権在民、平和と民主主義を主張したために弾圧され、今日の日本国憲法の礎を築いた治安維持法犠牲者のたたかいと、その志を引き継いだ人びとの不屈の記録です。

### 種まく人びと

監督  
瀬谷 良一（北海道生活図画事件）  
杉浦 正男（出版エクラブ事件）  
松本 五郎（北海道生活図画事件）  
水谷 安子（治安維持法違反で3回逮捕）  
横溝 國子（犠牲者だった父と母を語る）  
谷岡 健治（特高刑事だった父のこと）  
山田 朗（明治大学教授）  
増本 一彦（国賠同盟会長）  
宮田 汎（国賠同盟北海道本部会長）

ナレーター 米倉 日昌豊 若杉 民  
製作 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟  
プロデューサー 植田 泰治 西野 保  
監督 鶴見 昌彦

発行：治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

申込：都道府県本部・各支部

価額：1000円（送料 180円）

45分



# 治安維持法と現代

一一〇一九年春季号 第37号 目次

『数は力!』第39回全国大会の成功をバネに、同盟運動の新たな転換期へ  
私は非国民の汚名を着たまま旅だちたくない

—北海道「生活図画事件」体験記

増本 一彦

犠牲者のいま 水谷安子（105歳）／杉浦正男（104歳）を訪ねて

松本 五郎

治安維持法犠牲者に國家賠償法の制定を求める請願の18年度紹介議員の皆さん

—衆議院議員・参議院議員

## 特別寄稿

多喜二虐殺と特高告訴の試みについて

荻野 富士夫

治安維持法と考古学／治安維持法犠牲の若き研究者たち

菊池 誠一

発禁本「ハンセンエボン」誰のために...と

治安維持法下での松山文雄の漫画家活動

石子 順

平和と社会進歩のために—ベストセラー『君たちはどう生きるか』270万部突破の示すもの

中田 進

治安維持法体制と闘つた唯物論研究会員・経済学者

鰐坂 真

『辰巳経世著作集』の発刊—その学問的業績

桂 壮三郎

「伊藤千代子の生涯」映画化の今日的意義について

永島 民男

「山宣終焉の地」プレートの除幕と記念の集い

宮地 さか枝

山本宣治記念プレートに

藤田 喜佐代

エッセイ  
プロレタリア短歌運動時代の館山一子

石山 久男

Q&A 天皇の代替わりをどうみるか

## 治安維持法下の監査と抵抗の群像

「雨の日の出獄」——治安維持法違反に問われた教育実践

知られざる戦時下の抵抗詩人——階戸義雄の生と詩

熊井 三郎

特高監視下の室蘭「炭かすの街」詩社の人々

佐々木 順一

「1933年2月22日を忘れない！」——治安維持法で4度検挙された父・眞殿久治

眞殿 天童

資料研究  
日本の植民地支配と朝鮮人民の闘い

—3・11独立運動—〇〇周年に—

小池 莊市

138

130 121 112 105

93 84 83 80 73 68

56 46 37 30

20 19 14 5

## 同盟活動シリーズ

「東北ブロック交流集会in岩手」を終えて

千葉県同盟のこの間の活動と展望

地方議会意見書採択

鳥取県八頭町意見書全会一致で採択

女性部活動

市川・浦安支部女性部結成から一年

◆質問コーナー

安達 紗恵

石川 雄光

最上 健造  
小松 実

171 167

159 151

146

◆質問コーナー

市川・浦安支部女性部結成から一年

安達 紗恵

171 167

表紙カット

岡部哲郎（埼玉県）

中扉写真

藤田廣登（本誌編集委員）

記事中カット

橋本節男（大阪府・関西労働協「保存会」）

藤沢信子（広島県）

澤田勝雄（本誌編集委員）

## 「数は力！」

第39回全国大会の成功をバネに、同盟運動の新たな転換期へ

増 本 一 彦

はじめに

私たち治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟（以下、同盟）は、二〇一八年三月一五日に創立50周年を迎え、会員の皆さんには記念のボールペンを配り、DVD「種まく人びと」を作成して上映運動を全国各地でおこない、大阪で「創立50周年記念のつどい in 関西」（2018年3月17日）を開き、東京では「創立50周年記念レセプション」（2018年4月16日）を催して各界の方々と交流を深めました。

そして、「創立50周年を記念して、全国二万人の会員を擁する同盟に前進させよう」と二〇一七年六月の



増本一彦会長

郵便はがき

113-0034

(受取人)  
東京都文京区湯島2-4-4  
平和と労働センター 9F  
治安維持法犠牲者国賠同盟中央本部  
「治安維持法と現代」  
編集部行

本郷局承認  
3191

料金受取人払郵便

差出有効期限  
2021年  
10月30日まで

(切手不要)

二〇一九年春季号 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟

2019年 [ ] 季号 No. [ ] 号

お名前 男・女 年齢 歳

ご住所 〒

お電話 ( ) E-mail :

定期購読者	購入先	都道府県本部	支部
今号のみ購読		中央本部郵送	会員

治安維持法と現代

二〇一九年春季号

定価 1000円  
(送料 180円)

暗黒政治の時代を切り拓いた  
先人のバトンを受け継ぐ

同盟創立50周年記念出版  
治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟 編

抵抗の群像 第三集



価格 1500円

本書を推薦します 一橋大学名誉教授 渡辺 治



安倍首相が「今年こそ」と改憲実現の決意を公言するなか、日本は、戦後70年以上続いた「戦争しない国」を守るのか、再び「戦争する国」に立ち戻るのかの岐路に立っています。

そんな今、日本が中国への侵略戦争を始める岐路にさしかかった時代、侵略戦争に反対し、治安維持法の弾圧に屈しなかった人々の記録集『抵抗の群像』第三集が刊行されました。

本書から、私たちは、時代に立ち向かう勇気と決意のバトンを受け継ぐことができます。

[収録者 92人の氏名]

- ◆北海道・東北 棚敷よし子 鈴木治亮 大沢久明 佐藤薫 高橋テミ 宮澤弘幸 渡辺正彦 鈴木清 斎藤秀一 鈴木弼美 安部マサ 高橋實
- ◆関東 沼田秀郷 加藤高寿 室井篤 菊池邦作 坂本一郎 田口ツギ 岸二郎 飯島喜美 今野武雄 小澤路子 河崎治 杉浦正男 新島繁 松本克平 一宮政吉 大石重一 目黒亀次郎 山田(長谷川)寿子 津野勇
- ◆東海・北陸・信越 柴草要 宮島たけ子 植村幸猪 原(岩田)菊枝 細川嘉六 渡辺順三 永井泰蔵 大島英夫・とよ 加藤虎之助 鶴丸基代 鶴丸督子 吉見春雄 小栗喬太郎 亀田りえ 小柳津恒 青木文次 植木徹誠 大澤茂 野呂新吾
- ◆近畿・中国 藤野勇 秋田清二郎 青木康次・千恵子 辰巳經世 谷川巖 多田留治 永井智雄 石垣(上田)スエノ 鳥井彌壽吉 西村欣治郎 松本元市郎 森川淳一 北川宗蔵 前川太郎 碧川かた 金森ひろたか 安東義雄 伊東三郎 宇原新次 久山専一郎 難波孝夫 松岡健一 妹尾義郎 米澤進 山田喜一
- ◆四国・九州・沖縄 橋本夢道 太田政行 朝野勉 黒原善太郎 筒井泉吉 宮地重雄 ・元 石田樹心 吉田藤三 末永敏事 永村徳次郎 中島辰猪 石川一雄 八島太郎 真栄田一郎

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟発行

〒113-0034 東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター・全労連会館  
電話 03(5842)6461・FAX 03(5842)6462